

シタニア デ ブリテイロス (Citânia de Briteiros)

について



ギマランイシュ(Guimarães)から数キロ離れて、アベ渓谷の上方、サンホマオン (São Romão) 丘の頂にあるシタニア デ ブリテイロスは、景色の美しさに加えて、その壁、アーバニズムそして建築物の規模と記念碑的価値によって原史時代のイベリア半島の最も表現豊かな開拓地の1つとして、来る人を驚かせています。

「街」の初期の痕跡は、一連の壁によって守られた街路からはっきり見て取ることができます。壁の内側には、円形または長方形の住居が時に小さな「ブロック」として配置され保護されています。

シタニア デ

ブリテイロスは、ポルトガルとイベリア半島の考古学の歴史において範例となる史跡の1つです。その研究は、フランシスコ マルティンス サルメントが考古学調査の最初のキャンペーンを指揮した1874年に始まり、後年まで続けました。20世紀に、多くの考古学者によって発掘、復元活動が再開され、継続的な調査の結果、今日上部のプラットフォーム(アクロポリス)と東斜面の広い範囲で遺構が見えるようになりましたが、開拓地の地下層には依然として多くの秘密と価値ある科学的な情報が隠されています。

サンホマオン丘が利用され始めた最初の段階は、東斜面の花崗岩の崖面に岩彫刻を用いて様々なパネルが彫られた新石器時代および金石併用時代にさかのぼります。住民としての土地の専有は、大西洋青銅器時代の一部である紀元前1000年の初頭にさかのぼります。しかしながら、シタニアの黄金期は、紀元前2世紀にさかのぼります。西暦1世紀と2世紀の間に、イベリア半島北西部がローマ帝国に併合された後も依然として住民がいました。10世紀になると、アクロポリスには古い開拓地のがれきの中に小さなキリスト教の修道院が築造されました。

シタニアの遺構、地下層そして発掘品は、数千年の歴史の目撃者です。居住の証拠となる様々な遺物は、ブリテイロスのソラーダポンチにあるムゼウ ダ クルトゥーラ カストレジャ Museu da Cultura Castreja (カストロ文化博物館) で観ることができます。

問い合わせ先

Estrada Nacional 309, Km 55, Briteiros, São Salvador 4800 Guimarães

電話 : +351 253 478 952

Eメール: citania@msarmento.org

ウェブサイト: www.csarmento.uminho.pt

ソーシャルネットワーク www.facebook.com/citania.briteiros

特色とサービス

ショップ
ガイドツアー

バリアフリー案内

身体障害者専用駐車スペース
入口へのバリアフリー経路

- 全部

バリアフリー入口

- 全部

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア
建物内のバリアフリー通路

- 一部

バリアフリーのエリア / サービス

- 店舗
- バー / カフェ
- 身体障害者用設備

バリアフリー情報

- 案内板
- 凡例
- 双方向型・視聴覚資料を用いた発表
- 触覚的探索用のアイテム

支援スキル

- 運動障害
- 精神障害

利用可能な支援プロダクト / サービス

- 精神障害

支払い

クレジットカード利用可
